

## クロアチアで EURIPA 開催

板東 浩

### はじめに

WONCA 関連の学会として、欧州には European Rural and Isolated Practitioner Association (EURIPA) がある。このたび、第3回 EURIPA Rural Health 大会がクロアチアで開催された。著者は参加する機会を得たので、概要を報告する。

### 1. クロアチア (Croatia)

クロアチア共和国は1991年に連邦を構成していたユーゴスラビアから独立した。歴史上周囲の国々と複雑な経緯がみられる(図1)。首都はザグレブで、2013年7月に28番目のEU加盟国となる見通しである。

クロアチアでは、総合診療は General practice (opća praksa) と呼ばれる。クロアチア語で j はユと発音され、ヤ行の発音を担い、Japan はヤーパンと読む。アルファベットの中で25番目の y は使わない。ジュの発音は Đđ, Dž dž, Žž を用い、Lj lj リュ, Nj nj ニュ, Šš シュが特徴的だ。挨拶で Good day は Dobro dan となり、生活の中で Dobro が頻用されている。

### 2. Euripa 2012 国際大会

Euripa 2012 大会が2012年5月11~13日、クロアチアの Pag 島で開催された(図2)。

大会テーマは Training and Education for rural Practice で、8個のサブテーマは①地域医療の卒前教育、②地域医療の研修、③CPD (continuing professional development)、④診療時間以外の救急研修、⑤地域医療の IPE (interprofessional learning)、⑥地域医療の研究と学際的基盤の発展、⑦医師の雇用や定着への方策、⑧地域診療や健康における高い質の保持、

であった。各サブテーマに沿ったワークショップも行われた。

### 3. 興味あるレクチャー

大会では基調講演1、教育講演8、ワークショップや発表32、Welcome dinner、Karaoke Party、Gala dinner などが行われ、活発な議論がみられた(図3、4)。

その中で、イスラエルで GP, disaster medicine, nephrology を専門とする Adi Leiba, MD, MHA 氏の講義が興味深かったので紹介したい(図5)。氏は「地域医療と軍隊医学の類似性」という切り口で語り始め、私たちはぐっと引き込まれた。共通する因子として、

- ①医師にとってこの領域にあまり魅力を感じない
- ②従事する医師や医療スタッフが不足している
- ③成果やプライドを形成する方策を作り出す
- ④義務年限後も仕事に定着できる政策を創設する

などが挙げられる。

また、プライマリ・ケア医が有する展望を3つの視点から議論した。

①Vision: 治療、医学研修、および研究の遂行に優れているだろうか、

②Mission: 毎年卒業生の指導、地域医療/軍隊医学でユニークな点を発信していく、

③Value: 仕事でユニークな点は何だろうか、どんな足跡を残したか、将来はどう開けるか、どう変革できるのだろうか、  
などである。

### 4. 家庭医と懇談

家庭医の Siddig Basha (図6) と懇意になった。父

著者連絡先 板東 浩 (ばんどう ひろし)

きたじま田岡病院/徳島大学

(〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目61 E-mail: pianomed@bronze.ocn.ne.jp)

受付日: 2012年5月21日, 受理日: 2012年6月5日



図1 クロアチアの位置

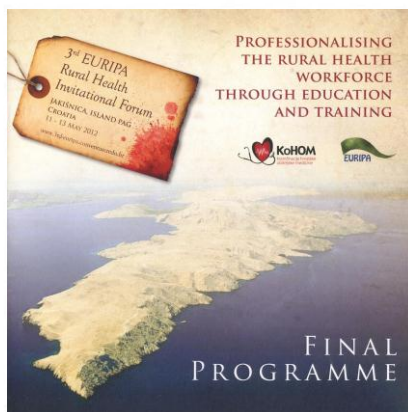


図2 プログラム



図3 学会の光景



図4 ワークショップの光景



図5 Leiba 医師の講演



図6 地域医療を担う Basha 医師と筆者

はドバイの産婦人科医で、氏はザグレブ医大を 2007 年に卒業。レジデンシー終了後、現在ザグレブから 80 km 東の Lipovljani 村で地域医療を担当。氏が住民 1800 人を、同僚医師 Dr. Digna が 1500 人を担当し、当地域では GP 2 名、薬剤師 1 名、歯科医 1 名のみだ。

歓談中、氏は診断的治療の重要性に触れた。腰痛の場合、大学病院なら X-P や CT、MRI を撮影して診断。次の週から訓練やリハビリを始めるだろう。一方、地域では問診によって、まず腰痛体操やリハビリの開始の様子をみるのがよく、適切な対応が求められる。

近年のトピックスは、卒後レジデンシーの年限が増えたことだ。以前は GP が 3 年、内科や外科などが 4 年だった。その後、欧米のカリキュラムとの整合性を保つため、各 1 年ずつ延長することに。ただ、内容是不変なので、実効性には疑問があるという。

今回の大会を企画した Dr. Tanja Pekez-Pavliscko は、Basha 氏から西に 30 km 離れた地域で GP として

働いている。2 年後にはより大きな欧州大会を同国の南部 Dubrovnik で開催する予定である (図 7)。

### 5. へき地医療に対する日本政府の貢献

さらに、同国 GP が日本に感謝することがあるという。日本政府の援助が Donacija Japana (Japanese Donation) として紹介された<sup>1)</sup> (図 8)。Lipovljani の東 30 km の診療所が日本の補助で改築され、寄贈された救急車もずっと活躍中だ (図 9, 10, 11)

こんな遠くの国で、日本が援助してきた歴史を知り、医療関係者として嬉しく感じた次第であった。

### 文献・資料

- 1) [http://www.novska.hr/hr/on\\_line\\_vijesti/donacija-japana-za-ambulante-u-rajicu-i-jasenovcu.277.html](http://www.novska.hr/hr/on_line_vijesti/donacija-japana-za-ambulante-u-rajicu-i-jasenovcu.277.html)



図7 学会主催の Pavlisko 医師と次回の開催地

29.07.2009

**Donacija Japana za ambulante u Rajiću i Jasenovcu**

Donacijom japanske Vlade, Domu zdravlja Kutina za ambulante u naseljima Rajić i Jasenovac bit će kupljena medicinska oprema.

Darovni ugovor o tome u Novskoj su potpisali Yoshio Tamara, veleposlanik Japana u Hrvatskoj i Anka Vidmar-Klasan, ravnateljica kutinskog Doma zdravlja. Iznos od 46 500 Eura, a sredstva će biti utrošena za poboljšanje zdravstvene skrbi za više od 3500 žitelja u ova dva, ratom teško stradalja mjesta.

„Sredstva su namijenjena kupnji sanitetskog vozila za ambulanu u Jasenovcu, EKG uređaja, dva manja defibrilatora, uređaj za reanimaciju, oprema za zaštitu beba, stol za preglede i dječja vaga te ostala oprema. Zahvaljujemo Japanskoj vladi na ovoj humanoj donaciji“, rekla je ravnateljica.



図8 日本政府がへき地医療に国際貢献



図9 寄贈された救急車



図10 寄贈された診療所



図11 JAPAN Official Development Assistance